

## 令和7年度 入学式 式辞

万物に春の息吹を感じる今日のよき日、多数の御来賓、保護者の皆さまのご臨席のもと、令和7年度愛媛県立松山南高等学校全日制課程の入学式をかくも盛大に挙行できますことは、我々教職員一同このうえない喜びであり、心より感謝を申し上げます。

さて、ただいま入学を許可いたしました360名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんは、今日から始まる南高での生活に、さぞかし胸が高鳴っていることでしょう。松山南高校は、皆さんの成長を促す鍛錬の場となるよう、さまざまな仕掛けを用意して皆さんを迎えます。一緒にワクワクしましょう。

今日、皆さんが南高生としての第一歩を踏み出す記念すべき日に、皆さんのこれからの高校生活をより意義深いものとするために心に留めておいて欲しいことをお話します。

現代は変化のスピードが速く、予測が困難な時代であると言われる。皆さんも、これからの高校生活の中で、恐らくほとんどの人が、これまで予想もしなかった経験をするでしょう。

もちろん、南高では、同級生、上級生、教職員も含めて、初めての人々との多くの出会いがあり、刺激を受けることも多いと思います。

日々の授業や部活動、探究活動や学校行事など、心に火をつける出来事も数えきれないほどあることでしょう。

しかし、皆さんには必ず、「こんなはずじゃなかった」という経験も待っています。

「想定外の経験」は、とても辛いものです。しかし、そのような経験は、これまでの自分の想定を超える経験なので、皆さんをさらにひと回り成長させるためのチャンスでもあるのです。

「想定外の経験」は、高校を卒業した後もずっと続きます。皆さんには、それを乗り越える「強さ」「たくましさ」を高校時代に身に付けてほしいと思います。

想定外を乗り越える「強さ」「たくましさ」とはどのようなものでしょう。

私は、その強さとは、困難に出会ったときに「倒れない強さ」だけだとは思っていません。むしろ、「倒れても立ち上がるしなやかさ」こそ、これからの時代に求められる「強さ」だと考えています。

「絶対に倒れない力」よりも「倒れても何度でも立ち上がる力」のほうが大切なのです。

しかも、立ち上がる方法も場所も一つではありません。別の方法や違う場所で立ち上がっても全く問題ないのです。

倒れても立ち上がるしなやかな復元力のことを「レジリエンス」と言いますが、「レジリエンス」はどうやって身に付けばよいのでしょうか。

お父様がここ松山市出身である宇宙飛行士大西卓哉さんが搭乗する宇宙船「クルードラゴン」が、先月15日宇宙へと飛び立ち、現在、大西さんは、日本人3人目の船長として国際宇宙ステーションで約半年間にわたる長期滞在ミッションに取り組んでおられます。

何が起こるか誰にも想定することができない究極のストレス空間と呼ばれる宇宙で仕事をする宇宙飛行士には「レジリエンス」が強く求められます。

JAXAの宇宙飛行士の選抜にも関わり、宇宙飛行士のメンタルケアも専門とされている松崎一葉氏は、「レジリエンス」を高めるには次の3つの要素を意識することが大切であるとおっしゃっています。

それは「冗長性」「多様性」「適応性」です。

「冗長性」の「冗長」とは、非合理的で無駄が多いことを意味しており、一見すると、なぜそれが大切なのかという気がします。ITの分野ではシステムの停止を防ぐために重視されている概念で、何かあったときのために予備や余裕を持たせることを意味しています。皆さんも、計画の中や実行の際に余白や余裕を持っていると、想定外の際の助けになるはずですよ。

ふたつ目の「多様性」とは、様々な考え方や価値観を受け入れることです。色々な考え方に触れることで柔軟な発想が生まれ、自分一人の考えだけでは難しかった問題解決に繋がる可能性が高まるということです。

最後の「適応性」とは、変化に対して俊敏に対応することです。失敗したらその都度修正して次に進む「適応」という発想を常に持つておくことが、倒れても立ち上がることを助けます。

そして、これから夢に向かう第一歩である高校生活を始める皆さんには、「レジリエンス」とともに、夢の実現を支える強い意志も必要ですよ。

皆さんを奮い立たせる言葉が、本日から南高生となった皆さんの一番近くにあります。

「自らを律せよ」それが、本校の校訓です。

創立以来134年目を迎え、数多の輝かしい歴史を誇る本校ですが、先輩たちもこの言葉を胸に刻みながら高校生活を送りました。自らを律するということは、過去から変わらぬ大変奥深いテーマです。あらゆる分野で社会に貢献する高い志を持つリーダーへと育てゆく皆さんにとって、もっともふさわしい校訓です。

最後になりましたが、保護者の皆さま、本日は誠にありがとうございます。

今日の晴れの日を迎えられましたのは、まずは新入生一人ひとりの努力によるものですが、これまでそれを支えてこられました保護者の皆さまの深い愛情に心から敬意を表しますとともに、皆さま方の本日の感慨も一入のこととお喜び申し上げます。私たち教職員一同、全ての新入生を心から歓迎するとともに、大切な生徒をお預かりする責任の重さを改めて感じているところでございます。私たちは、生徒たちを全力で応援し、また鍛えます。そして、卒業の際には、変化が激しく予測が難しい時代にあっても、不測の事態に動じることなく自らの発想と力で課題を乗り越え、社会の良き創り手として貢献できるたくましい若者として、皆さまのもとへお返ししようと思っております。どうか、本校の教育活動にご理解とご支援、ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

それでは、心地よい春風に祝福されて始まる新入生の皆さんが南高で過ごす毎日が、それぞれの個性や才能を存分に伸ばし、ひとまわり大きな人間へと成長させる日々になることを切に願って、式辞といたします。

令和7年4月8日

愛媛県立松山南高等学校長 島瀬 省吾